

第1編 衆議院議員総選挙及び  
参議院議員通常選挙並びに  
最高裁判所裁判官国民審査

# 第1章 衆議院議員総選挙

# 1 選挙長及び同職務代理者

選挙区	選挙長		選挙長に事故があるとき、又は選挙長が欠けたとき、その職務を代理すべき者	
	住所	氏名	住所	氏名
第1区	北九州市小倉北区青葉2丁目11番5号	宮崎時春	福岡市西区西新6丁目5番12号	斉藤恒孝
第2区	福岡市南区高宮2丁目21番11号	由良半三郎	北九州市八幡西区永犬丸西町2丁目13番16号	黒河吉男
第3区	三井郡大刀洗町大字本郷2619番地	平田糸次郎	三井郡北野町大字金島321番地の1	橋本義溢
第4区	福岡市中央区輝国2丁目12-12輝国住宅155号	衣笠哲生	北九州市八幡西区光貞台2丁目14番20号	河崎純人

# 2 立候補者に関する調

## 第1区

届出順位	届出年月日	届出の別	候補者						
			ふりがな氏名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業
1	昭和55年6月2日	本人届出	おお たい がい いち 誠一	男	福岡県福岡市西区城西1丁目72番地	福岡県福岡市西区城西1丁目5番11号	昭和20年10月30日(満34歳)	自由民主党	太田誠一総合研究所主宰
2	昭和55年6月2日	本人届出	やま きき たく 崎拓	男	福岡県福岡市西区西新町2063番地	福岡県福岡市南区高宮3丁目22番3号	昭和11年12月11日(満43歳)	自由民主党	政党役員
3	昭和55年6月2日	本人届出	かわの だけい 野(河野 正)	男	福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲139番地	福岡県粕屋郡篠栗町大字尾仲139番地	大正3年1月1日(満66歳)	日本社会党	河野病院長
4	昭和55年6月2日	本人届出	いさ山 ひろし (諫山 博)	男	福岡県福岡市中央区大名2丁目251番地	福岡県福岡市中央区大名2丁目10番20号	大正10年12月5日(満58歳)	日本共産党	弁護士
5	昭和55年6月2日	本人届出	おお くる ひで お 大倉 英生	男	福岡県大牟田市笹林町2丁目4番地の10	福岡県福岡市博多区吉塚1丁目7番8号	昭和25年1月22日(満30歳)	日本労働党	政党役員
6	昭和55年6月2日	本人届出	つじ へい 辻 英雄	男	福岡県福岡市西区藤崎1丁目103番地	福岡県福岡市南区長住2丁目2番28号	大正8年7月8日(満60歳)	自由民主党	福岡県社会保険労務士会会長
7	昭和55年6月2日	本人届出	なら ぎき や のすけ (橋崎 弥之祐)	男	福岡県福岡市博多区中呉服町79番地の2	福岡県福岡市東区名島3丁目28番18号	大正9年4月11日(満60歳)	社会民主連合	社会民主連合書記長
8	昭和55年6月2日	本人届出	た なか しやう じ 田 中 昭 二	男	福岡県八女市大字本町186番地の1	福岡県福岡市博多区博多駅南3丁目15番30-401号	昭和2年1月6日(満53歳)	公明党	公明党福岡県本部副本部長



## 第 2 区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候		補			者						
			ふりがな 氏名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業					
1	昭和55年 6月2日	本人 届出	あき 麻	う 生	た 太	ろう 郎	男	福岡県飯塚市 大字柏の森 214番地	福岡県飯塚市 大字柏の森 214番地	昭和15年 9月20日 (満39歳)	自由民主党	麻生セメン ト株式会社 顧問		
2	昭和55年 6月2日	本人 届出	み 三	は 原	あ 朝	お 雄	男	福岡県遠賀郡 遠賀町大字鬼 津3605番地	福岡県遠賀郡 遠賀町大字広 渡1819番地	明治42年 8月20日 (満70歳)	自由民主党	三原木材株 式会社代表 取締役社長		
3	昭和55年 6月2日	本人 届出	ふ 藤	じ 井	じ 純	じ 二	男	福岡県甘木市 大字中寒水 2122番地	福岡県北九州 市八幡東区西 本町4丁目8 番17号	昭和21年 12月7日 (満33歳)	日本労働党	政党役員		
4	昭和55年 6月2日	本人 届出	みや 宮	た 田	き 卓	な 苗	男	福岡県北九州 市八幡東区祝 町2丁目1235 番地	福岡県北九州 市八幡西区别 当町10番11号	大正8年 6月12日 (満61歳)	民社党	民社党中央 執行委員		
5	昭和55年 6月2日	本人 届出	た 多	が 賀	や 谷	し 真	お 稔	お 稔	男	広島県呉市広 町16705番地	福岡県嘉穂郡 穂波町大字枝 国666番地	大正9年 1月5日 (満60歳)	日本社会党	日本社会党 書記長
6	昭和55年 6月2日	本人 届出	お 大	は 橋	とし 敏	お 雄	男	福岡県福岡市 西区西新4丁 目299番地	福岡県北九州 市八幡西区河 桃町7番18号	大正14年 11月3日 (満54歳)	公明党	党県本部顧 問		
7	昭和55年 6月2日	本人 届出	まつ 松	も 本	し 七	ろう 郎	男	福岡県北九州 市戸畑区一枝 1丁目63番地	福岡県北九州 市戸畑区夜宮 1丁目1番15 号	明治44年 11月15日 (満68歳)	日本社会党	団体役員		
8	昭和55年 6月2日	本人 届出	お 小	ざ 沢	かず 和	あ 秋	男	東京都国立市 東4丁目25番 地の13	福岡県北九州 市八幡東区尾 倉3丁目1番 24号	昭和6年 9月15日 (満48歳)	日本共産党	政党役員		

## 第 3 区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候		補			者					
			ふりがな 氏名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業				
1	昭和55年 6月2日	本人 届出	なら 橋	は 橋	すす 進	すす 進	男	東京都渋谷区 恵比寿3丁目 83番地	福岡県久留米 市高良内町23 47番地の128	昭和9年 6月3日 (満46歳)	自由民主党	運輸政務次 官	
2	昭和55年 6月2日	本人 届出	ほ 細	そ 谷	は 治	よし 嘉	男	福岡県大牟田 市大字吉野 680番地の1	福岡県大牟田 市大字吉野 680番地の1	大正元年 9月21日 (満67歳)	日本社会党	政党役員	
3	昭和55年 6月2日	本人 届出	ご 権	ん 藤	ど 恒	つ 恒	お 夫	男	福岡県粕屋郡 須恵町大字植 木349番地	福岡県久留米 市高良内町 3802番地の53	昭和5年 3月23日 (満50歳)	公明党	公明党福岡 県本部副本 部長
4	昭和55年 6月2日	本人 届出	うえ 上	む 村	かず 和	お 男	男	福岡県大牟田 市大字久福木 866番地の8	福岡県福岡市 博多区吉塚1 丁目7番8号	昭和24年 1月1日 (満31歳)	日本労働党	政党役員	
5	昭和55年 6月2日	本人 届出	まつ 松	い 石	ひ 秀	す 介	男	福岡県八女市 大字光158番 地	福岡県大牟田 市大字今山 1184番地の23	昭和3年 9月21日 (満51歳)	日本共産党	米の山病院 総院長	
6	昭和55年 6月2日	本人 届出	や 山	ま 崎	へ 平	は 八	男	福岡県大川市 大字新田819 番地	東京都文京区 小日向1丁目 3番6号	明治44年 12月16日 (満68歳)	自由民主党	自由民主党 福岡県支部 連合会会長	
7	昭和55年 6月2日	本人 届出	こ 古	が 賀	ま 誠	ま 誠	男	福岡県山門郡 瀬高町大字上 庄26番地	福岡県大牟田 市柿園町2丁 目3番地の9	昭和15年 8月5日 (満39歳)	自由民主党	自由民主党 大牟田支部 相談役	



29 - 19

8	昭和55年 6月2日	本人出 届	い な ろ み な か と 人	男	福岡県八女郡 広川町大字川 上29番地	福岡県浮羽郡 吉井町大字清 瀬573番地	明治35年 10月19日 (満77歳)	民 社 党	民社党福岡 県連合会委 員長
---	---------------	----------	--------------------------------------	---	---------------------------	----------------------------	---------------------------	-------	----------------------

### 第 4 区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候		補			者	
			ふりがな 氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和55年 6月2日	本人出 届	た な か ろ く す け 助	男	福岡県田川郡 赤池町大字赤 池268番地	東京都世田谷 区尾山台2丁 目6番8号	大正12年 1月23日 (満57歳)	自由民主党	自由民主党 副幹事長
2	昭和55年 6月2日	本人出 届	は る な が ま こと 孚	男	福岡県北九州 市小倉北区大 字砂津416番 地	福岡県北九州 市小倉南区大 字長行445番 地	明治35年 11月22日 (満77歳)	無 所 属	有限会社朝 洋社代表取 締役
3	昭和55年 6月2日	本人出 届	み な な か み つ 久	男	東京都目黒区 大岡山1丁目 122番地	福岡県北九州 市小倉南区若 園町325番地 の13	昭和6年 1月1日 (満49歳)	日本共産党	弁 護 士
4	昭和55年 6月2日	本人出 届	な か にし せ せ き 介 介	男	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	福岡県田川郡 香春町大字採 銅所3283番地	大正15年 2月6日 (満54歳)	日本社会党	日本社会党 田川総支部 委員長
5	昭和55年 6月2日	本人出 届	か じ か よ し 清 清	男	福岡県北九州 市小倉北区昭 和町99番地	福岡県北九州 市小倉北区霧 ヶ丘3丁目9 番39号	昭和3年 2月18日 (満52歳)	公 明 党	団 体 役 員

## 3 当選人に関する調

### 第 1 区

当 選 年月日	当 選 告 示 年月日	当 選 証 書 与 日 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	144,513	山 崎 拓	福岡県福岡市南区高 宮3丁目22番3号	政 党 役 員	昭和11年 12月11日 (満43歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	144,455	檜 崎 弥之祐	福岡県福岡市東区名 島3丁目28番18号	社会民主連 合書記長	大正9年 4月11日 (満60歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	136,824	太 田 誠 一	福岡県福岡市西區城 西1丁目5番11号	太田誠一総 合研究所主 宰	昭和20年 10月30日 (満34歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	120,703	田 中 昭 二	福岡県福岡市博多区 博多駅南3丁目15番 30-401号	公明党福岡 県本部副本 部長	昭和2年 1月6日 (満53歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	886 115,966.	辻 英 雄	福岡県福岡市南区長 住2丁目2番28号	福岡県社会 保険労務士 会会長	大正8年 7月8日 (満60歳)

### 第 2 区

当 選 年月日	当 選 告 示 年月日	当 選 証 書 与 日 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	92,123	三 原 朝 雄	福岡県遠賀郡遠賀町 大字広渡1819番地	三原木材株 式会社代表 取締役社長	明治42年 8月20日 (満70歳)

昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	85,826	麻生 太郎	福岡県飯塚市大字柏 の森 214 番地	麻生セメント 株式会社 顧問	昭和15年 9月20日 (満39歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	82,482	宮田 早苗	福岡県北九州市八幡 西区別当町10番11号	民社党中央 執行委員	大正8年 6月12日 (満61歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	75,741	大橋 敏雄	福岡県北九州市八幡 西区河桃町7番18号	党県本部顧 問	大正14年 11月3日 (満54歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	74,706	小沢 和秋	福岡県北九州市八幡 東区尾倉3丁目1番 24号	政党役員	昭和6年 9月15日 (満48歳)

### 第 3 区

当選 年月日	当選告示 年月日	当選証書 附与 年月日	得票数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	85,822	古賀 誠	福岡県大牟田市柿園 町2丁目3番地の9	自由民主党 大牟田支部 相談役	昭和15年 8月5日 (満39歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	75,699	檜橋 進	福岡県久留米市高良 内町2347番地の128	運輸政務次 官	昭和9年 6月3日 (満46歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	73,848	細谷 治嘉	福岡県大牟田市大字 吉野680番地の1	政党役員	大正元年 9月21日 (満67歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	71,909	稲富 稜人	福岡県浮羽郡吉井町 大字清瀬573番地	民社党福岡 県連合会委 員長	明治35年 10月19日 (満77歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	67,597	山崎 平八郎	東京都文京区小日向 1丁目3番6号	自由民主党 福岡県支部 連合会会長	明治44年 12月16日 (満68歳)

### 第 4 区

当選 年月日	当選告示 年月日	当選証書 附与 年月日	得票数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	164,746	田中 六助	東京都世田谷区尾山 台2丁目6番8号	自由民主党 副幹事長	大正12年 1月23日 (満57歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	96,953	中西 績介	福岡県田川郡香春町 大字探銅所3283番地	日本社会党 田川総支部 委員長	大正15年 2月6日 (満54歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	76,366	鍛冶 清	福岡県北九州市小倉 北区霧ヶ丘3丁目9 番39号	団体役員	昭和3年 2月18日 (満52歳)
昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	昭和55年 6月26日	74,435	三浦 久	福岡県北九州市小倉 南区若園町325番地 の13	弁護士	昭和6年 1月1日 (満49歳)













# 選挙公報



衆議院議員候補者  
自由民主党公認  
農政連推  
薦

おのおの  
**太田 誠一**  
た (34才)

80年代の政治家として  
新しい時代を築きたい

今日の日本の経済的・物質的繁栄はアメリカを凌ぐほど豊かなものです。しかし、一方で、利害や打算のみで人間を捉えようとする心算しい傾向があり、不正もまた少なくありません。

私は一人ひとりの努力、流した汗の分だけは、正当に報われる。公正で活力溢れる社会」を実現することが、政治に携わるものの生涯の使命と信じているものです。

今日のエネルギー問題に代表される諸問題の根源は、実に「公正で活力溢れる社会」が築かれていない点にあるのです。そこで、私は

- 一、公正で一貫した政治
- 一、責任感と独立の気概を養う教育
- 一、「地方の時代」にあつた国政

を行うことを三本の柱にして、一人ひとりの能力が活かされ、充実した人生を送れる「公正で活力溢れる社会」を築き上げる覚悟です。

「あなたと創る誠(まごころ)の政治」どうぞ、太田誠一をご支援ください。

私の約束

- 一、物価の安定、景気浮揚と雇用の拡大をはかり、国民生活の安定につとめます。
- 一、独立の気概と責任感を養う教育を行ない社会の基礎をつくらします。
- 一、婦人の社会的地位の向上と積極的な社会参加をすすめます。
- 一、恵まれない人たちの身になつて、社会福祉制度の充実をはかります。
- 一、農林漁業者が安心して働けるよう長期を見通した政策を確立します。
- 一、地場企業、中小企業の保護育成につとめます。
- 一、中央と地方の行政区分を再検討し、地方自治体の確立をはかります。
- 一、自然と文化が調和した、住みよい環境づくりにつとめます。
- 一、二十一世紀を担う青少年たちが、魅力と愛着のもてる社会をつくらします。
- 一、すべての国との友好親善を深め、一貫した外交政策の確立につとめます。

私の略歴

昭和二十年 福岡市で生まれる。福岡教育大附属小・中学校、慶応高校を経て慶大経済学部を卒業。同大学院経済学科研究科博士課程を終了。  
昭和四十八年から福岡大学経済学部の専任講師、助教を務める。この間、米国アラクソンの客員助教、昭和五十四年、同大辞職。理論経済学、アメリカ経済学、日本青年会議所福岡県ブロック協議会前副会長、福岡青年会議所会長、市民フォーラム代表、福岡県青年会議所の会相補役、マクロ経済学研究会(共著・有斐閣)、サミエルトン経済学体系(共訳・勁草書房)など家族、妻と二女、福岡市西区城西町。



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

ただし  
**かわの 正**  
た (66才)

80年代政治家革新へ  
決意あらたに

わが国の正

わたしの五つの公約

- (1) 自民党による政治腐敗、競争機軸を全権政治の遺毒。
- (2) 革議連に反対し、年金、医療、福祉の拡充。
- (3) 物価から国民生活を守る。
- (4) 非武装、情報開示と外交を推進し、エネルギー資源を確保。
- (5) 中小企業、農林業を保護し、部落の定を解放。
- (6) 三大労働争議、ゆとりを教育、ゆとりを社会の創造。
- (7) 反独占、反自民の革新連合政府の樹立。

本籍 福岡県前原郡早良町尾花1-3-3番地  
現住所 福岡県前原郡早良町尾花1-3-3番地  
大正3年1月1日生  
経歴 昭和6年 福岡中学 現福岡高校卒業  
昭和10年 九州医専 現久留米大学医学部卒業  
昭和11年 九州帝大医学部卒業  
昭和18年 九州医専 専門部助教  
昭和20年 九州医専 専門部助教  
昭和26年 福岡県議会議員  
昭和30年 衆議院議員選挙第1期  
昭和54年 前衆議院公営、環境保全特別委員長

「石の上にも草」と申します。その意味では苦節十年、長い浪人生活の末、管を方の腕かいて支援と支持をいただき、国会に於ける活動の場をやらせていただきました。国会では、一九五五年から一十一年間、選挙や年金、物産や医療と安定した国民生活の向上を信託として働き続けてきた実績を買われ、「衆議院公営」環境保全特別委員長、として任命をあたられたに大光でありました。今回、史上初め、衆議院選挙をむかひましたに、国政のすべてを一新する覚悟で参りますと申します。それは、八〇年代の政治が、金融、物産、医療に政治腐敗を革新し、真に国民生活を担った。政治家への道しるべになるからです。政権担当能力」を失った自民政治に終止符をうつのは、この機会をおいてはかかないといえます。いま、お隣の韓国では、軍隊がカギを握る市民に押しつけ、自由にも「も言えない」懸念がもたらした時代を再現してはなりません。戦後、教育自派は、教員を再び戦場に送る。を平和と民主主義を守る運動の含義をなしました。この運動は社会を中心に、労働組合も多くの中核をなす人達が担い、平和と民主主義、国民生活向上の根となり、このような先達の血のむすびのような戦いがこれらにわけて体制をつくりあげたのです。しかし、自民政府は、アメリカの要請をうけ、防衛費増強、日米合同議定書、有事体制の強化など、軍事力増強に狂奔して、防衛の要請による武器輸出、激しい競争力、赤字財政下の防衛費増強が一般消費増と大衆増と結び切り、赤字を前に押し出し、国民生活を苦しめ、時々受ける市民の苦しさ、働く仲間の苦しさ、平和を愛する市民の苦しさ、政治、再編、改組した自民党の政治しりオドをうけ、八〇年代の政治腐敗へむけて共に戦い抜きたいと思ひます。正義と誠の政治を実現むけて決意をあらたに、みな様方の一層のご支援を心からお願いする次第です。

あなたです  
社会党です  
物価を抑制できるのは  
キレいな政治に変えるのは  
武器よさらばと云えるのは

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとつてそのまま印刷したものであります)



# 選挙公報



日本社会党公認

## たがや 真稔

60才

### 私の決意

一、今回の衆参同日選挙は自民党一党独歩が終り連合の時代を迎えるかどうか、八〇年代幕開けの政治決戦です。その連合は自民党が中道なまきこんで保守無派政権をつくるか、社会党中心の革新連合政権になるか、政局はわが党の助成にかかっています。社会党書記長としての私の任務と責任は重く、全力をあげていただきます。

二、八〇年代の課題は、エネルギー、インフレ、高令者社会への対応、平和外交など、いずれも私がながい間どりくんできた問題であり、必ずお役に立つと思います。

三、閉山後の深い傷痕をいやすため、私は議員生活の大半をかけてきましたが、いまだ充分ではありません。鉱害復旧法の改正、産炭地域振興法、炭鉱離職者法について最も熟知しているものとして、産炭地六法や同和措置法の強化延長を必ず果たします。

また北九州の工場閉鎖縮小に反対し、工場設備を更新し雇用の確保にとりくみます。

### 私の公約

#### 金権・汚職構造の一端

金権・汚職の自民党の体質をかえるためには政権交代が早道です。政治の倫理を確立するため議員の資産を公開させ、金のかからぬよう選挙法を改正します。悪質違反者は立候補資格を十年間停止します。

#### 便乗値上げをおさし物価の安定を

大金業の独占価格・公共料金、便乗値上げをおさえるため「買占め売惜み」などの二法、独禁法の運用により物価の安定につとめます。

### 福祉の後退を許さず、雇用の確保を

政府は「老人医療の無料を息子の年収三〇五万円以上は適用しない、厚生年金の支給を六〇才から六五才に引上げる」との法律改正をましょとしました。私が私連の反対で一応撤回しました。福祉年金・遺族年金を引上げ、身障者等の福祉政策の充実を図ります。中高年者雇用についての雇用義務化、「年令による雇用差別禁止法」を制定します。

#### エネルギーと食糧の確保、中小企業振興

平和中立外交により海外エネルギー資源を確保し、国内炭と海外炭の輸入を調整します。省エネルギーを行い、太陽熱・波力・地熱等自然エネルギーを本格的に開発します。農家の明るい展望を支えるとともに中小企業の振興に努力します。

#### 豊かな教育づくりと婦人政策の充実

受験地獄をなくすため高校を全入にし、大学の社会人への開校、有給教育休暇による就労保障を進めます。ゆきとどいた教育をめざし一学級四十人を早急に実施します。男女雇用平等法をはじめ婦人のため八五の政策を実現します。

#### 危険な軍備増強をやめ、平和の創出を

軍備増強に対する内外からの圧力はねかえし非同盟中立政策をすすめ、南北朝鮮統一の促進、平和の積極的創出などアジア諸国から真に愛され信頼される国にします。

### 私のあゆみ

早稲田大学法学部卒業後、日鉄二種に勤務、炭労結成に参加し、法対部長となる。昭和二年福岡県議員選挙、回七年衆議院議員に当選。衆議院石炭特別委員長、党政策審議委員長、党部活動推進委員長などを歴任し昭和五年党書記長に就任し現在にいたる。



衆議院議員候補(福岡二区)  
日本共産党公認

## 小沢 和秋

(48歳)

### 汚職、なれい政治にみんな怒っています

KDD事件、税理士安買取事件、浜田幸一とばく事件、あまりにもひどい汚職腐敗にみんな怒っています。ワイロ政治の中心の自民党、汚職にまぐる市民各党、こんなとれた政治は絶対に許すことができません。おおくの国民は、くらしと営業を守るために、この選挙を「金権体質の政治をたたく野戦」とみています。そのとおりです。KDDからお金をもらった議員の疑念を、自分の手で究明できないような政党、企業献金企業ぐるみ選別に反省の色をえない政党に清濁政治を語る資格はありません。政治をよそよそしく金権腐敗にまみれ、国民のくらしと安全の政治をつらぬくことのできるただひとつの党、日本共産党の私、小沢和秋を、前向きに倍々のお力添えを国会におくりだしてください。

### 私の公約

一、金権、汚職、腐敗にメスをいれ、清潔な政治をもちたえます。

私は、これまでのすべての汚職腐敗事件の真相究明の先頭になつて奮闘します。

企業献金、団員献金を禁止し、政治献金は個人にかぎるようにして金権、汚職の温床をなくします。

二、物価、公共料金の値上げをおさえ、大金業の便乗値上げをおさめさせて狂乱物価の再現をふせぎます。

大金業だけを特別あつかいする電通規制をかえれば、先一千億円、軍備増強などの不要不急の予算付けすれば、兆五千億円のあたらしい財源がでてきます。

この財源を労働者の福祉、福祉の充実、公立高校建設、教育費の父母負担軽減などに投立します。

三、地元の発展につとめます。

大スーパード大手商業資本の一方的なありこみや無秩序な再開発、閉鎖を規制して地元中小企業をまもります。

産炭地対策の打ち切りや国鉄ローカル線の廃止をやめさせて筑豊の本格的な復興をすすめます。

### 私の公約

四、軍備の増強をやめさせ、危険な安保条約をなくすためにたたかいます。

自民、民社ばかり、公明党、社会党も事実上安んじ認めて。軍事費の削減も出来ません。

いまのF15戦闘機一機だけで五百円、百億円あれば二百の保育所、高層なら工校もできます。

軍国主義日本を再現してはなりません。日本共産党はついでです。アメリカがあれ、他民族の主権をふみにてるような相手は絶対に許しません。

五、他国をぶ力でおどしたり、主権をふみにじる大国の覇権主義を許しません。

ソ連のアガクニソ連軍事介入、アメリカのイランへの軍事脅迫、昨一月の中国のベトナム侵襲も覇権主義そのものですね。

日本共産党はついでです。アメリカがあれ、他民族の主権をふみにてるような相手は絶対に許しません。

私の略歴

東京大学法学部卒、八幡製鉄入社、同労組執行委員(五期、三十一歳で県議会議長となり二期二年)、党員共済員団幹事長をつとめ汚職追及の先頭にたつ、老人医療無償化、私学助成を実現させ、現在、党副委員長

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとりてそのまま印刷したものであります)

昭和55年6月22日執行  
衆議院議員総選挙  
(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 6月22日  
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本労働党公認

## ふじい純二

(33才)

### 覇権主義反対、国政革新の大連合を

#### 崩れはじめた自民党政治を徹底的にうち破ろう

今回の総選挙は、永年続いた自民党の悪政が音たてて崩れはじめた状況の下で行なわれる重要な選挙です。自民党政治の特徴ともいうべき(1)対外進取、対ソ軟弱、(2)発展途上国を踏みにじる外交、(3)大企業本位で国民生活破壊、(4)金権、腐敗の政治に対する広範な国民の怒りは大きく増え、自民党政治を追い詰めています。野党は大きく連合して、自民党政治をうち破り、国民の期待に応えなければなりません。「与野党逆転」が実現するならば戦後政治の一大前進であり、わが国政治の革新のための国民的合意形成の一大前進となります。しかし、こうした国民の願望に日本共産党だけが背を向け、野党の連携に攻撃を加えています。共産党は自民党がまさにその単独支配を失おうとしている重要なときに、自民党批判ではなく、全力をあげて野党、とりわけ社会党を攻撃し、自分たちの前進をはろうとしています。わが党は野党の連携の積極的意義を理解し、国民の願望に応え、彼らと力を合せ、自民党単独支配を打ち破るため全力をつくすものです。

### 労働党 四つの主張

- 1、すべての覇権主義に反対し、アジアと世界の平和日本の安全を、独立、自主、第三世界との連帯で国の進路をきりひらけ
  - 2、大衆政権で財政危機の「克服」をねらう自民党の高物論、インフレ、国民生活破壊の政治に反対する
  - 3、自衛隊の増強、核武装化、海外派兵など軍事力の強化、拡大に反対する
  - 4、スパイ防止法の制定の策動などすべての民主主義の破壊、政治反動に反対する
- 国会に労働党議員団の登場を**
- 労働党の国会への進出は、自民党政治に対するもつともするどい批判であり、手痛い打撃になると確信します。
- わが党は、国民各層の要求と斗争を断固支持し、團結と連合を促し、もつとも広範な統一戦線形成のため奮闘する決意です。

### スローガン

- 1 アメリカのフランに対する制裁、軍事威嚇反対
- 2 ソ連軍はアフガニスタンから即時撤退せよ
- 3 イラン制裁を加担するな
- 4 対米対ソは非暴力外交
- 5 対米対ソは非暴力外交
- 6 南朝鮮人民の民主的合法要求を断固支持
- 7 南朝鮮の南朝鮮内政に干渉するな
- 8 南朝鮮は南朝鮮から出ていけ
- 9 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 10 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 11 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 12 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 13 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 14 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 15 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 16 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 17 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 18 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 19 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな
- 20 南朝鮮は南朝鮮の内政に干渉するな

### 略歴

一九四六年、北九州市八幡で新日鉄労働者の次男として生まれる。一九六九年、九州大学理学部中退。一九七〇年、九州大学理学部中退。一九七二年、日中友好事業理事。一九七五年、労働党福岡県支部委員長。



衆議院議員候補者  
公明党公認

## おおはしとしお

# 大橋敏雄

(54才)

### 福祉一筋で

国民に背を向け、金権腐敗の限りをつくす自民党のために、日本の政治はいま混沌の極に達しています。しかも、財政難を理由に、こともあろうに児童手当の廃止など一連の福祉の後退をはろうとする自民党には、もう日本の政治を任せようとする自民党今こそ、自民党に代わる、国民主役の新しい連合政権を樹立しなければなりません。私は、皆さまのあたたかい支援をいただき、五期十二年間、国会で働かせていただきました。当初、福祉は政治ではないと批判を受けましたが、現在、どの政党も福祉の充実をスローガンにかかげるようになりました。福祉こそ政治である、と更に固く決意をし、福祉一筋にたたかかってまいりました。国民の皆さまとともに、全力でたたかてまいります。何とぞよろしく願い申しあげます。

### 私の公約

- 税金や物価に対して  
不公平な税制を改め、一般消費税の導入には反対します。石油の値上げによる便乗値上げを厳しく監視し、インフレ抑制に全力をあげます。
- 老後の生活と健康に対して  
国民基本年金法を制定し、生活できる年金を確保します。各種保険の整備を統合をはかり健康な生活を保障します。
- お母さんと子供に対して  
母子保健法を改正し、出産手当を十五万円に引き上げます。教育費の公費負担を拡充し、教育を受ける権利を保障します。
- 仕事とエネルギーに対して  
中小企業の保護育成、また、中高年層の雇用の確保を推進します。石炭の見直しや石油にかわるエネルギーを確保します。
- 郷土の発展に対して  
旧産地域、荒置の振興をはかり、石炭六法の延長を推進します。折尾駅前の再開発、岡垣バイパスの早期完成を推進します。

### 実績の中から

- 一、老齢福祉年金月二万二千五百円の推進
  - 一、旧産地振興の鉱害復旧対策を推進
  - 一、産業医科大学の八幡校区誘致に尽力
  - 一、特定不況種補償法の制定を促進
  - 一、飯塚市の総合福祉センター開設を進める
  - 一、腎臓病者の傷病補償年金の改善を図る
  - 一、老人医療保健制度の創設確約を推進
- 私の略歴**
- 大正十四年十一月二日生まれ  
昭和十七年 海軍予科練に入隊  
昭和十八年 福岡県会議員(二期)  
昭和四十年 衆議院議員初当選、以後五期連任  
現任 社会労働委員長、議院運営委員、科学技術特別委員長を歴任  
現任 厚生部会部長、党県顧問  
北九州市八幡西区に在住。
- 大橋さんをぜひ 国会に送って下さい**
- |       |
|-------|
| 五十 正治 |
| 中西 實  |
| 矢野 寛  |
| 横山 修  |
| 藤川 猛  |
| 川手 一高 |
| 石橋 吉蔵 |

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)



昭和55年6月22日執行

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 6月22日

福岡県選挙管理委員会



自由民主党公認  
衆議院議員候補者

## 三原朝雄

あさお

僅か七月前、皆さま方の絶大な御支援により六度目の当選の栄を賜り、未だ十分、お礼やご返しも出来ぬまま、今回の突然の解散で総選挙に突入し、再び皆さま方に御高配を賜らねばならぬと致しました。何とぞ、前回は倍する御支持をお願い致します。

### 自由民主党の使命

戦後三十有余年、我が国の政治は安定を維持し、経済は数々の波乱に遭遇しながらも発展を続けて来ました。これは各位の努力の所産であることは勿論であります。しかし、一つ、皆様方の信任を得て指導力を発揮してきた我が党、自由民主党の存在は否定的に否定し得ない事実であります。しかしながら自民党がくも長きに亘り政権を担うして来た結果、最近になりその功と罪の差が顕著になり、国民の皆さまの支持率が減少しつつあることも事実として認めなければなりません。

不確実性の時代と言われる八十年代を迎え、より強い指導力が要求される時、自民党の相対力の低下は我が国にとって不幸なことです。「保革逆転」とまで懸念される今日ですが、自民党のこれまでの実績はかけがえないものであり、現在に至るまで政権担当能力のない未経験な野党諸党に日本の内政、外交を任せざるわけにはいきません。しかし自民党もこの際、刷新を断行し、新たな活力を蓄えて、更に野党をリードする体制を再建しなければなりません。自由主義体制のもとに我が国の今日の繁栄を築いてきた私達は、今後も英知と努力を結集し、更に政治、経済、社会、文化の発展を図って後世に引き継ぐ使命があります。そのために我々が責任を持って引受けることの出来る党は自由民主党のみです。

### 私の決意・公約

私は再び国政参画の案に添わせていただきましたならば、先ず我が党が所属する自民党の徹底的改革が急務であるとの原則に立ち、次に公約する諸策を体当たりで実行することを誓います。

- 一、責任政党としての信頼を再び勝ちとるため、派閥内でのすべての政治活動をなくす。
- 二、党内の若返りを図り、政治連帯の人事を推進する。
- 三、私自身が無派閥の有利な立場にあるので、自らの持つあらゆる影響力を行使する。

こうして、身自党を早急に建て直しした後、責任を持って国会を正しく運営し、次の実現に全力を尽くします。

一、野党の意見を尊重し、常に活力に富む前進する

### 政治に取組む

- 一、国会議員の立場を利用しての特権濫用は絶対に排除する。
- 一、国民が理解、納得出来る判りやすい政治を行う。さらに、私は山積する内外の諸問題にも精力を傾注致します。すなわち
  - 一、日本安保体制を基礎にした積極的平和外交の展開。
  - 一、国力、国情に応じた防衛力の整備。
  - 一、エネルギー対策の確立。
  - 一、物産の抑制と経済安定成長の定着。
  - 一、公害のない福祉社会の実現。

### 「ふるさと」とともに

私が初めて国政壇上に席を得させていた、なだいなだから十七年の年月が経過しました。その間、一刻も「ふる里」の野の緑、玄の潮の音、躍動する九州工業地帯、そして埃塵から脱ろうとする筑豊の姿を私は忘れたことはありません。東京の喧騒から私を救ってくれたものは常に地元の皆さまの人情味溢れた御声ましと御叱りでありました。私はいつもこう訴えて来ました。「郷土を離れて三原の存在なし」この気持はいつも、将来も決して変わることはありません。

政治道徳の存在が問われている現在、私は改めて自らの公私に亘る生活を見直し、皆さま方のご信頼を裏切ることなく、国家と郷土の発展のため良心に恥じることのない政治家として努力を重ねていくことをお約束致します。

### 経歴

- 文部大臣 防衛庁長官 総理府総務長官 内閣委員長
- 自由民主党国会対策委員長
- 自由民主党国家安全保障調査会会長
- 自由民主党国防議員連盟会長
- 安全保安特別委員会理事
- 運輸委員会委員
- 石炭対策特別委員会委員



衆議院議員候補者  
自由民主党公認  
農政速推薦

## 麻生太郎

(39才)

いま日本は、内外にわたって数多くの難問をかかえ、大きな目角を避えています。激動の80年代のゆくえは、みなさまの選択にかかっています。私はこれまでに政治不信を払拭し、国民にわかりやすい政治の実現をめざし、日本の安全と地元の繁栄のために全力を尽して行動します。

### 私の決意

- 一、日本の心を大切に、個性をふれる人間をつくる教育を確立します。
- 二、百所を守るため、物産安定に積極的に取り組めます。
- 三、産炭地域の振興(石炭六法の延長)に努力し、筑豊浮揚をはかります。
- 四、安定した森林水産業振興をはかり、活力ある経済社会づくりを進めます。
- 五、スプリング文化施設の充実をはかり、たくましい青少年と健全な街づくりをします。
- 六、三世代家族のためにゆとりある住まいづくりをめざします。
- 七、完全雇用(特に中高年齢者の雇用)のための産業基盤づくりを努力します。
- 八、誠実な平和外交・自主防衛で日本の安全を守り繁栄をめざします。

### 経歴

- 昭和15年9月 福岡県飯塚市に生まれる
- 昭和38年3月 福岡県立第一高等学校卒業
- 昭和40年7月 米国スタンフォード大学政治学部卒業
- 昭和41年7月 英国ロンドン大学大学院留学
- 昭和48年5月 メキシコ国際射撃大会出場(優勝)
- 昭和51年1月 モントリオール・オリンピック出場
- 昭和52年1月 日本青年会議所副会頭就任
- 昭和53年10月 日本青年会議所副会頭就任
- 昭和54年11月 衆議院議員当選
- 昭和54年11月 衆議院大蔵委員会、内閣委員会各常任委員
- 昭和54年11月 自由民主党青年局・都市局長
- 昭和54年12月 麻生セメント株式会社相談役就任
- 昭和55年4月 自由民主党・石炭対策特別委員会副委員長

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)



昭和55年 6月22日執行  
**衆議院議員総選挙**  
 (福岡県第二区)

# 選挙公報

投票日 **6月22日**  
 福岡県選挙管理委員会



日本社会党公認  
 衆議院議員候補

## 松本七郎

(68才)

### わたくしの決意

昨年一〇月の総選挙では、多くの皆様のご支援にこたえられない結果になりました。

とどまることを知らぬ自民党の腐敗政治を目のあたりにしなが、金権候補に敗れた悔しさに、雪じよくの機会をまわってまいりましたが、今回の解散となり私は「今こそ聞かねば」と再び立候補いたしました。

今回の衆参同時選挙は、国民に背をむけながらも長い間続いてきた自民党政治に終りをつけさせる絶好の機会であります。

私は、何としても前回の雪じよくをはたして、革新のかため日本社会党の躍進で革新連合政権の実現へむけた私額に汗する人々のくらしと、平和と民主主義を守りぬくため全力をつくしてがんばります。

### わたくしの約束

1、インフレ、物価つりあげをゆるさず、子どもとおとしよりが安心してくらせる差別と不平等のない社会をつくりまします。

2、大企業と自民党政治のゆ着をたち切り、金のかからぬ選挙を実現して、汚職を一掃します。

3、経済復興の原動力、筑豊に再び光をそそぐべく、石炭六法の延長のため、国会の場で地元の期待にこたえたい。

4、徴兵制やスパイ法制定など政治の反動化と対決し、長い外交経験を生かして、戦争のない平和な日本を建設します。

### 主な経歴

北九州市戸畑区出身。慶応義塾大学卒業。衆議院当選一一回。この間、日本社会党中央本部教宣局長、国際局長、両院議員総会長、衆院通信委員長等歴任。現在、現代総合政策協議会理事長。

### 松本七郎を支持する主な人々

日本社会党 衆議院議員	飛鳥田 一雄
参議院議員	小野 明
参議院議員	松本 英一
参議院議員	安永 英雄
参議院議員	古賀 清治
参議院議員	中川 邦彦
参議院議員	向 坊 利 明
参議院議員	因 幡 英 二
参議院議員	荒 田 鉄 男
参議院議員	三 好 昭 利
参議院議員	中 村 雅 利



衆議院議員候補者  
 社会党公認

## 宮田早苗

(61才)

### 私の公約

いままこ、政治への信頼回復を  
 出さず、今国会の内閣不信任、解散、総選挙という一連の出来事の中でつらき時を過ごした国民に、戦後続いた保守一党支配は着立を告げ、今やついに政治としてこの組織の力も、政策を推進していく力も失ってまいりました。

いままこ、国民不在の政治体制を軌道修正し、健全な政党が主導する政治を実現すべきです。これからの日本は激動する国際情勢の中で、多くの苦難のりこえていかねばなりません。国民が求めているのは信頼できる政治であり、その指導力です。

### いよいよ連合時代

保守一党支配の終えんとし、政局は編成、連合時代を邁進しなくてはなりません。この統制に立ち、過激な労働組合は振り回され、建前論から現実から選外は一切認めず、革命をめざす政党、こうした階級主義政の首領をたてはなりません。今日まで、日本の経済社会の発展を支えた健全な労働者、市民の代表である民社党が連立、連合時代の中心となることが、これからの日本にとって何よりも必要ではないでしょうか。

民社党が補選で示した成果を生かそう  
 私の信念は、福に行き、真面目に働いて、人々の努力と誠意が生かされる社会を何に実現する人々であります。私は愛する郷土、福岡の多くの働く人々とともに、労働運動を通じて、そして政治活動を通じて、かつての混乱した福岡政、北九州政を健全で安定した住民のための政治とする努力を積み重ねてまいりました。

この理念を重んじ、私は、自信をもって、連合時代の主導権は民社党が握らなくては、日本はよくならない、と断言いたします。日本の政治を正すために、民社党に、宮田早苗に一番の支持をお願いいたします。

### 私の約束

- 一、物価を安定させ、経済の安定した発展のための政策を展開します。
- 一、中核組合の雇用対策を確立し、六十才定年の実現をめざします。
- 一、四〇の不安(金後、病気、住宅、教育)解消に努力します。
- 一、行政改革、不正不正検閲の是正を期す。
- 一、省エネ、代替エネルギー開発等、国の将来を左右するエネルギー問題に引き続き取り組まします。
- 一、日本の平和と安全を守ります。

### 私の略歴

一、「地方の時代」によさわい福岡県、北九州市の地域づくりに進みます。  
 一、旧産地地域の鉱産資源の獲得、関連六法の延長、産業振興に全力を注ぎます。  
 一、地域経済の基盤である中小企業振興の拡充強化をはかります。

大正六年六月十二日 山口県大津郡三浦町で生まれる  
 昭和七年三月 山口県大津郡三浦町小早  
 昭和十二年 八幡製糖所入社  
 二十六年 八幡製糖労働執行委員となる  
 三十七年 組合長に当選、五期十年在任  
 四十五年 富士製糖合併により、新日鐵労働組合  
 出立会長、九州労働組合代表理事、福岡県  
 民社党支部長、九州労働組合代表理事、福岡  
 県民同好組協理会長、(一)四十九年  
 から、四十五年まで福岡県労働委員  
 会、福岡県労働組合代表理事  
 四十七年 衆議院議員に立候補して当選  
 五十一年 衆議院議員三選  
 (現在) 党中央執行委員、政策審議会副会長、労働  
 部中央執行委員、商工部会長、経済労働、  
 新日鐵専連、北九州労協、関連労働協議  
 会各副会長

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 選挙公報



衆議院議員候補者  
自由民主党公認  
農政連推薦

## なら橋進

(46才)

### 立候補のご挨拶

第三区有権者の皆さま、私は過去三回の衆議院議員選挙に、皆さまの絶大なご支援ご協力でご選ばせていただき、この度の総選挙に再度立候補し、必勝を期して頑張っています。

初めて当選したとき、私は若冠二十九才でありましたが、今では男の盛りと「われ四十才」になりました。この働き盛りのエネルギーと過去六年半の政治的経験、現職政務次官としての行政知識を生かし、これからの政治に力をつくし、国と郷土のために働き、必ず皆さまのご期待とご恩に報いる決意です。

### 私のお約束

一、理性と良心と責任感に徹し、清潔な正しい政治の実現につとめます。

二、わが国の直面している厳しい内外情勢を深刻にうけとめ、国の平和と繁栄、国民生活の安定をめざし、当面の緊急課題にとりくみ、精力的な活動を展開いたします。

三、郷土資源(県南地方)の振興発展の大本拠である(一)道路交通網の整備、(二)上下水道の完備、(三)港湾漁港の建設、(四)福祉施設や教育施設の充実等、公共事業の拡大に一層の努力をいたします。

住みよい郷土の建設のために一生懸命に働きます。

一、お年寄りや身障者や軍人遺家族等に対する社会保障の充実、各種年金の充実公正化等新しい日本型の福祉社会の実現につとめます。

### 政治に理性と良心と責任感を

- 一、清潔な正しい政治の実現
- 一、物価の安定、インフレの抑制
- 一、お年寄りや恵まれない方々のための社会保障の充実と各種年金の充実公正化
- 一、農業経営基盤の確立と中小企業対策の強化
- 一、公共事業の拡大で明るく住みよい郷土の建設を促進

### 略歴

- 昭和 九年 六月 久留米市東町五五にて出生
- 昭和 十九年 四月 久留米市南蕨小学校編入
- 昭和 十八年 三月 東京晩星高等学校卒業
- 昭和 二十二年 三月 慶応義塾大学経済学部卒業
- 昭和 三十二年 四月 三井物産入社
- 昭和 四十八年 一月 衆議院議員橋橋渡秘書
- 昭和 四十八年 十月 衆議院議員補欠選挙に当選
- 昭和 五十二年 七月 衆議院議員選挙に当選
- 昭和 五十四年 十月 衆議院議員選挙に当選
- 昭和 五十四年 十一月 運輸政務次官就任



衆議院議員候補者  
日本共産党公認

## 松石 秀介

(51歳)

### 三つのお約束

私は、このたびの総選挙にあたり、三つのお約束を申し上げ、みなさんのご理解とご支持をおねがいしたいと思います。

一、金権、汚職、腐敗の政治を一掃し、なれぬ政治をなくします

二、健康保険法改悪を阻止し、くらしのこころを守ります

### 私の八つの目標

一、くらせる年金、安心して医者にかかれる医療制度、福祉を充実させます。

二、物価をおさえ、一般消費税などを重税に反対し、国民生活に財政を再建します。

三、大企業の人々を規制し、労働条件の改善、公的職業を確立し、雇用の拡大をはかります。

四、外国農水産物の輸入を制限し、食料の自給を基本に、農、漁業、果樹、畜産経営の安定をはかります。

五、大スーパの進出を規制し、地場産業の育成、中小商工業者への助成を強めます。

六、産戻地関係六法を延長改善し、国内産の増産を柱にしたエネルギー政策で大牟田の再建をすすめます。

七、筑後大ゼキの強行着工を止めさせ、住民生活の筑後川水計画を確立します。

八、婦人の地位の向上と子どもも豊かな成長、教育の民主的発展をはかります。

私の略歴

旧制創立八女中学校を経て、久留米大学医学部卒業

現在の役職

米の病院 中女病院・中央診療所・中央鍼灸所の総院長

高取保育園理事長

福岡県民主医療機関連合会副会長

日本共産党福岡県委員会福祉対策委員長

現住所 大牟田市今山一八四の二三

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)







# 選挙公報

投票日 6月22日

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

## やまもと けんじ 八郎

(68才)

### 私の決意

昨年の総選挙以来、私は、物価の安定、財政の確立、エネルギー対策、それに長期展望の上についた農業政策、税制、など国民生活に直接かかわりのある重要政策の立案推進に努力をつけてまいりました。

今、僅か七ヶ月にして更に総選挙を迎えました。今日わが国の政局は、経済は勿論内政外交共に一層のきびしさを加え、これに対応していく強力にして明るい政治体制による国策の実現が急務となつてきました。

政党は、今こそ内部対立をやめ、政治倫理を確立して一致結束し、政治家もまた、私利私慾を離れてこれに取り組み、努力邁進しなければならぬと思います。

私は、皆さまの心を心とし、誠心誠意、これに当り、重要国策の実現をはかり、国土の発展と、住みよい郷土づくりに全精力をつくす決意であります。

皆さまの vari ないご支持を心からお願い申し上げます。

- 中央政界の主な推せん者
- 前内閣総理大臣 福田 勉 夫
  - 自民党総裁 大平 正 芳
  - 元内閣官房長官 安部 晋太郎
  - 元農林大臣 中川 一 郎

### 政治目標は

豊かな郷土づくり

- 一、国民経済の充実をはかります。
- 一、物価を安定させ、景気に活力をつけ、家庭経済基盤の健全な充実をはかります。
- 一、新しい農業政策を確立して、農山漁村の生活を豊かにします。
- 一、米をはじめ、筑後地域の豊富な生産資源の特質を十分に生かして、生産から販売消費までの仕組みを改善して、働く人の所得水準をたかめてゆきます。
- 一、愛と心の教育を
- 一、教育の仕組や、教育環境を改めて、学校でも家庭でも、明るい賢い、ゆとりある子供の教育に力をいれます。
- 一、暮しを便利に、健康と文化を
- 一、生活環境を整えて、スポーツ・レクリエーション施設、文化施設をふやして、生活をたのしく、便利にし、文化の水準を向上させます。
- 一、高齢化社会を楽しくします。
- 一、年金、医療、憩いの場などをふやして、これからの高齢化社会を明るくします。
- 一、産業基盤をつくらせてゆきます。
- 一、めくまれた水と緑と、農地や、山や道路などを含めて、これを高度に利用し、改良し、培って、新時代に適応してゆく産業開発の基盤をつくらせてゆきます。

### 略歴

大川市に生れ、九大農学部卒、衆議院議員当選四回、農林省九州農政局長、文部農林尚書官歴任、衆議院農林水産委員会理事、自民党農林部会長、自民党福岡県支部連合会長、



衆議院議員候補者  
公明党公認

## ごんどう じゅんぺい 恒夫

(50才)

### 国民とともに歩む

清潔で公平な政治を実現します

福岡三区の當様、私は、衆院当選いらい今日まで皆様の厚いご支援のお蔭をもちまして、党国対副委員長、衆院農水委員会として、全身全霊をこめて働かせていただくことができました。大変ありがたいございました。心より深く御礼申し上げます。

今日、わが国には物価高、エネルギー危機、福祉の貧困、財政赤字、外交問題など多くの緊急課題が山積しています。

にもかかわらず、自民党は内部抗争から事実上分裂し、衆議院を解散して政治空白をつくつてしまいました。かかる自民党のおごりと暴挙を許すことはできません。

私はたまたかいます。そして自民党の金権・高取体質、国民不在の政治を断固と擁護させ、国民とともに歩む、清潔で公平な人間関係の政治を実現する決意であります。

福岡三区の當様、なにこそ再び、皆様の力強いご支援を切にお願い申し上げます。

- 私の国会での活躍 地元の実績
- 一、大牟田市の公害救済と有明リバー被害対策を推進しました。
  - 一、石炭対策特別委員会、石炭対策の充実、石炭のガス・液化の開発推進などを政府に強く主張しました。
  - 一、広川工業団地(レンガ業者)、久留米ガスの経営実態調査を行ない、振興策を推進しました。
  - 一、合板の急増による大川市の家具産地の救済策を政府に迫り、推進しました。
  - 一、不況産業や伝統地場産業の振興と家具物品税の撤廃を政府に迫りました。

### 私のお約束

- 一、自民党の金権腐敗政治を終わらせ、人間優先の清潔で公平な政治を実現します。
- 一、物価高とインフレを抑え、国民の生活を守ります。
- 一、エネルギー危機を克服し、省エネルギーの推進と供給確保につとめます。
- 一、大企業の圧迫から中小企業を守り、経営の安定をはかります。また、伝統地場産業の助成強化と発展をはかります。
- 一、産炭地振興関係諸法の期限延長で、産炭地助成を継続するとともに、大牟田市の再開発を促進します。
- 一、農林漁業を振興し、生産とくらしを守ります。また、有明リバー、八女茶、果樹園芸など特産物の流通機構の改善と販路拡大をはかります。

### 私の略歴

- 一、昭和5年、福岡生まれ。
- 一、昭和10年、福岡市立第一期。
- 一、昭和12年、福岡第二期。
- 一、昭和15年、衆議院議員当選、農水委員。
- 一、現在、党国対副委員長、同福岡県本部部長。
- 一、九州電気工学専門学校卒業。
- 一、50才。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和55年6月22日執行  
衆議院議員総選挙  
(福岡県第三区)

# 選挙公報

投票日 6月22日  
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本労働党公認

## 上村和男

(31才)

覇権主義反対、国政革新の大連合を  
崩れはじめた自民党政治を徹底的にうち破ろう

今回の総選挙は、永年続いた自民党の悪政が音を立て崩れはじめた状況の下で行なわれる重要な選挙です。自民党政治の特徴ともいえるべき(1)対外進出、対ソ軟弱、発展途上国を踏み台にする外交、(2)大企業本位で国民生活破壊、(3)金権、腐敗の政治に対する国民の怒りは大きく増え、自民党政治を追い打ちしています。野党は大きく連合して、自民党政治をうち破り、国民の期待に応えなければなりません。「与野党連立」が実現するならば戦後政治の二歩前進であり、わが国政治の革新のための国民的合意形成の一歩

### 労働党 四つの主張

- 1、すべての覇権主義に反対し、アジアと世界の平和、日本の安全を、独立・自主、第三世界との連帯で国の進路をきりひらけ
- 2、大衆取締で財政危機の「豆服」をならう自民党の高物價、インフレ、国民生活破壊の政治に反対する
- 3、自衛隊の増強、核武装化、海外派兵など軍事力の強化、拡大に反対する
- 4、スパイ防止法の制定の運動などすべての民主主義の破壊、政治反動に反対する

### 国会に労働党議員団の登場を

労働党の国会への進出は、自民党政治に対するもっともまじめな批判であり、手痛い打撃になるものと確信します。  
わが党は、国民各層の要求と斗争を断固支持し、團結と連合を促し、もっとも広範な統一戦線形成のため奮闘する決意です。

前道となり。しかし、こうした国民の願望に日本共産党だけがむけ、野党の連携に攻撃を加えています。共産党は自民党がまさにその単独支配を失おうとしているこの重要なときに、自民党批判ではなく、全力をあげ野党、とりわけ社会党を攻撃し、自分たちの前進をはかるうとしています。わが党は野党の連携の積極的意を理解し、国民の願望に応えて、彼らと力を合せ、自民党単独支配を打ち破るため全力をつくすものです。

### スローガン

- 1) アメリカのイランに対する制裁・軍事威嚇反対
- 2) イソ制度に追加するな
- 3) 政府の対米強硬姿勢に反対
- 4) ベトナムはソ連軍に反対
- 5) カンボジア人民の真正正義を支持
- 6) 政府は朝鮮の内政に干渉するな
- 7) 北朝鮮の自主平和と統一を支持
- 8) 国境・領土・色門の軍事変化反対
- 9) 自衛隊の増強、核武装化反対
- 10) 日米安保条約の即時廃止
- 11) 大企業優先反対
- 12) 大企業優先に増税
- 13) 公共料金引き上げ、高物價、インフレ反対
- 14) 莫大の増徴を止め、削減、失業、労働力反対
- 15) 減税、農産物輸入増大反対
- 16) 中小企業増進と有価証券の増進反対
- 17) スパイ防止法とすべての政治反動反対

### 略歴

一九四九年、大牟田市で三浦辰雄氏の五男として生れ、三浦才彦の中で育つ。三浦工業高校を卒業。正六期、労働運動の組織活動をして活躍する。現在、労働運動委員会委員長。



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

## ほそや 治嘉

(67歳)

### 私の決意

このたびの総選挙に七たび立候補いたしました。さる一十八年初当選、以来十七年間国会で政治の浄化を第一としつつ、平和の確立、教育の民主化をねとし、産業経済、税財政、地域振興政策等に重点的にとり組んでまいりました。

いま「地方の時代」といわれ、国民参加による政治の実現が強く叫ばれています。「地方の時代」とはこれまでも私が主張し実践してきた基本方向であり、その実現のため、長年の経験と蓄積を生かし全力で頑張る決意です。

### 私の基本態度

いま、わが国の政治経済は、重大な局面に立っています。航空機輸入汚職に加え、国際電文、税政連問題、政治家のギャンブルなど、まさに混沌の状況で、去年の複数首班候補にみられた自民党の四〇日抗争、内閣不信任案の多数不審による可決、衆参同時選挙などは、長年続いた自民党一党支配に、その根柢をきり折るため、承年の自民党一党支配の腐敗政治構造を一掃することが絶対必要です。

アフガン問題に象徴される世界の情勢が急激に変化する中で、日本の軍事大国化路線が内外から推進されつつあります。平和憲法を守り、積極中立外交でエネルギー資源を確保し、世界と日本の平和に努力することこそ重大な課題です。

八〇年代の政治は、人間中心の福祉型社会を創造することです。私は、格差を平準をなくし、インフレと不況を克服するため国民各位の経済活動を実現、国民生活を守ります。

### エネルギー資源を確保する

わが国は産業エネルギー資源に加え食糧エネルギーも自給率も極めて低い。国の安全保障は、この二問題の解決がすべてであります。まず、国内唯一のエネルギー資源である石炭の高度利用のため全力を傾注すると共に、国外エネルギー確保のため、わが国の貴重な技術を活用し、積極的な資源開発を展開します。原子力は、その安全性が確認されるまでの間、研究、試運転に重点をおき、省エネルギーの推進と共に、小水力、風力、地熱、太陽熱など自然エネルギーの開発体制を強化推進します。

### 地方の時代表現のために

八〇年代は、地方が政治の土台となり、住民参加のもとで、ゆきとどいた教育、福祉医療を充実し、お年寄り、子供が大切にされ、婦人の平等が保障される時代です。その基礎は平和と民主主義憲法の創設です。私は、自治、分権、参加と連帯による地方自治の確立と郷土風情の発展のために、全力をかたむける決意です。

### 私の主な経歴

- 橋浜部等工業学校応用化学科 卒業
- 福岡県議会議員 二期
- 社会党福岡県連書記長 四期
- 大牟田市市長 二期
- 衆議院議員 連続 六回
- 地方制度調査会委員
- 石炭燃料研究所長
- 社会党中央本部地方政治局長
- 現 中央本部政策調査会副会長

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)





衆議院議員候補者  
公明党公認

## かじ 清

きよし

(52才)

### 心のこもった政治を

皆さまのあたたいご支援をいただき、はじめて衆議院におくつていただいから、早三年半が経ちました。特に前回からは、民社党や同盟の皆さまにも応援をいただき、心からお礼を申しあげます。この間私は、国民の福祉の向上のために、力一杯、働かせていただきました。私が、今、最も痛感しておりますことは、あの一腐敗・墮落した自民党の一角独裁政治を変えなくてはならないということであり、あまりにも国民を無視した、自民党の派閥抗争は目に余るものがあります。

私は今こそ、「国民のための心のこもった政治」とりも最大チャンスだと、と決意しております。私は、全力をふりしぼって、皆さま方の手となり、足となつて働いてまいります。皆さまのより一層のご支援を、心よりお願い申し上げます。

### 私の主張

- 一、清廉な民主政治の確立  
自民党の金権・腐敗政治を追究し、国民の主権を生かす、公正な政治を確立します。
- 一、物価の安定と景気の回復  
公共料金の値上げを抑え、景気を持続的に回復させ、国民生活の安定をはかります。

民社党・福岡地方同盟支持

### 一、定期制延長と雇用の確保

当面六〇才定期制を推進し、中高年令者や障害者の雇用を確保します。

### 一、母子福祉の充実

母子保健法の改正や、婦人の地位の向上をはかります。

### 一、中小企業・農林漁業の振興

大企業優先の政策を転換させ、食糧自給率の向上をめざします。

### 一、豊かな人間教育、文化・スポーツの発展

国民の学ぶ権利を確保し、平和で文化的な国家を建設するための教育を普及します。

### 一、住宅・環境の整備

ゆとりのある住宅、公害のない生活環境、個性ゆたかな地域社会をつくります。

### 一、郷土の発展

石炭六法を延長し、産炭地の振興をはかります。新北九州空港の建設、国道十号線バイパスの建設を推進します。

### 私の略歴

- 昭和三年 北九州市小倉北区生まれ
- 米町小学校・旧制小倉中学校・明治専門学校(現九州大)を卒業。
- 昭和四十年 北九州市議会議員(三期)
- 昭和五十一年 衆議院議員(連続二期)
- 衆議院文教委員、同石炭対策特別委員として活躍。
- 現在 公明党中央委員。



日本社会党公認

## 中西せき介

(54才)

### 私の決意

今回の衆議院解散は、まさに「激動する八〇年代」の言葉どおりのできごとと言えます。この時を迎えて、私は軍備増強を推し進め、不況から国民を守り、政治を浄化し、社会党主導による連合政権の樹立をめざします。

さて、私はみなさまの暖かいご支援で国会へ送っていただき、以来三年半「台所と職場の声」を国政に生かし、「明るい活気ある郷土」を創るため、全力をつくしてまいりました。今後この信念を貫き、みなさまとともにその実現をめざしてがんばりたいと決意を新たにしています。

みなさまのご支援を心からお願いたします。

### わたくしの十大政策

- 一、汚職と腐敗の自民党政治を終らせ、軍事大國への道をやめさせます。
- 二、北九州や産炭地に、技術産業を国の資金で立地させる一方、石炭六法などの強化・延長をはかり、郷土に明るさと活気をとります。
- 三、石油かくし、物価値上げやインフレの野放し、公共料金の理不尽な引き上げを許しません。

四、年金や医療制度の改善をふせぎ、誰もが安心してくらせるよう、その改善につとめます。

五、特性を生かした中小小工業の育成をはかるとともに、雇用不安の解消をはかります。

六、国民の台所と農業・漁業の直結をはかるとともに、食糧自給体制をすみやかに整えます。

七、四十人学級と高校全入を早急を実現し教育荒廃の正しい克服につとめます。

八、部落の完全解放のための部落解放基本法の制定をめざし、同和対策特別措置法の強化・改正を実現する一方、三大闘争の前進につとめます。

九、国鉄ローカル線廃止に反対するとともに、住民の足としての地域総合交通政策の整備・確立をいそぎ、交通危機を打開します。

十、築城基地のF4・F1の配備に反対し、その解消につとめるとともに、山田弾薬庫跡地の全面平利利用を推進します。

### わたくしの略歴

- 田川郡香春町生まれ。県立田川中学、三重農専(現三重大学)卒。中学・高校教諭として理科・農業教科を担当するとともにスポーツを指導。自らも水泳では県代表として国体に連続出場。党公認対策委員。衆議院文教常任委員、石炭対策特別委員理事。衆議院当選二回。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとつてそのまま印刷したものであります)



昭和55年 6月22日執行  
衆議院議員総選挙  
(福岡県第四区)

# 選挙公報

投票日 6月22日  
福岡県選挙管理委員会



自由民主党公認 前内閣官房長官

たなかろくすけ  
**田中六助**

(57才)

自由主義を守るため一生懸命働きました

昨年は、多数のご支援をいただきまして、ありがとうございました。感激いたしました。そのみなさまのご支援を心のゆりにして、内閣を支え、党勢に全力をつくし、自由主義を守るため、日本のため、ふるさとのため、一票、一票のあなたの力で、あなたの力に励まされ、一生懸命に働きました。このたび、私の努力いたらず、総選挙になり、ふるさとのみなさまに、努力の足りないさを、おわび申し上げることも、前回にもまして、ご支援をたまりませうお願いいたします。

八十年代の希望に向かって  
困難を乗り越えていきます

みなさまに育てられ、あなたがつくって下さった大平内閣は、この一年半、国の将来を左右する内外のいろいろな問題にぶつかりましたが、それを解決しつつ、八〇年代の希望にむかって、荒波を乗り越えて進んでいます。戦後、歴代の内閣が、こころざしをながらも、なしえなかった行政改革を、初めて実行にうつしたのをはじめ、物価の安定に努力を傾け、エネルギー資源の確保につとめ、政治倫理の確立をはかっています。ご承知のように、原油の輸入価格が、この一年間で、二倍になりましたが、日本は、西ドイツとならんで、もっとも、消費者物価の上昇率が低く、世界の優等生といわれております。

五十五年度も実現しました  
郷土予算の計画のすべてを

昨年度の政府予算では、福岡県の水不足を補うダム計画をすべて予算化したほか、郷土の計画を全部実現しました。ことしはつきつき、県知事さん、市町村長さんひとつ心ひとつ、北九州福岡道路などの道路、林道、鉱害、失業対策、北九州市のモノレール、周防灘開発、パイロット

事業と、ご支援をいただいたあなたの顔を思い浮かべながら、ふるさと予算を全部実現し、私立保育園や幼稚園の補助費、恩給、老齢年金など社会福祉予算も、ご要望にむかえて近い額に予算化しました。

かならずやります新空港と  
産炭六法延長と国道10号線

八〇年代の私たちのふるさと、私たちの日本を、みどり豊かで楽しく明るくするため、もっとも必要なのは、国民に支えられ、自信を持った適切な政策を、自信を持ってつこう政府手当てです。

田中六助は、大平総理とともに、二十四時間、郷土のため、国のため、自由主義を守るため、これまでにもまして全力をつくします。北九州新空港、産炭六法の延長、周防灘開発、国道10号線バイパス完成を、必ず実現します。あなたの一票、一票が、私どもにも力となって。この選挙を勝ち抜き、政局を安定させるため、田中六助は、北海道から鹿児島まで、同志仲間からの依頼で応援いたしております。選挙区に帰ること思いますが、お目にかかる機会は少いと思いますが、よろしくつうこうご理解の上、前回にまさにご支援を下さいますよう、お願いいたします。

## 約束しましょうきれいな選挙

### 投票日

# 6月22日



福岡県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)





衆議院議員総選挙  
参議院議員通常選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

投票日 6月22日

投票用紙は

- 衆議院選挙…藤色
- 最高裁判所裁判官国民審査…桃色
- 参議院地方区…黄色
- 参議院全国区…白色

投票の順序は…衆議院選挙、国民審査、参議院地方区、  
最後に参議院全国区の順序です。

投票できる時間は…午前7時から午後6時までです。

新時代  
開く力だこの一票

福岡県選挙管理委員会